

江戸最後の日 (1941)

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 B&W
時間 95分
初公開日 1941/11/28
公開情報 日活

【解説】

吉田絃二郎の同名戯曲を元に、和田勝一が脚本を執筆、稲垣浩が潤色・監督した作品。剣戟スターとして名をはせた阪東妻三郎が、悩める主人公を重厚に演じて高い評価を受けた。

鳥羽伏見の戦いに敗れ江戸に逃げ帰った徳川慶喜。幕府内では、官軍と一戦を交えるべきとする主戦論者と、官軍と話し合いで無血開城を進めようとする穏健派とが対立していた。穏健派の勝安房守（後の勝海舟）は、主戦論者たちから蔑まれ、さらには刺客に襲われるなど、辛い日々を送っていた。勝は死を覚悟して官軍に乗り込み、西郷隆盛と会談を持つ。

【クレジット】

監督 稲垣浩
原作 吉田絃二郎
脚本 和田勝一
潤色 稲垣浩
撮影 石本秀雄
編集 西田重雄
音楽 西梧郎
出演 阪東妻三郎 勝安房守
原健作 塚本虎太郎
藤川三之祐 魚河岸の元締
香川良介 大久保越中守
尾上華丈 新三郎
志村喬 榎本和泉守
団徳麿 石田俊吉
河部五郎 向山隼人
遠山満 川路聖謨
上田吉二郎 益満休之助
仁札功太郎 甲州屋文太郎
戸上城太郎 山岡鉄太郎
大沢健司 大島圭介
大川原左雁次 白石兵右衛門
若松文男 薩摩志摩守
石川秀道 長吉
春日清 守川慎之助
浮田勝三郎 白柳辨之進

水野浩	高橋伊勢守
小川隆	新門辰五郎
尾上菊太郎	徳川慶喜
常盤操子	女将おせき
柳恵美子	姉娘八重
環歌子	勝夫人静代
沢村敏子	妹娘照